学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	プロダクト造形実習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザイン教育研究所との連携授業。前期はアメニティグッズやホテル用品を製造・販売している実在の会社を対象に、インバウンドへの視点で新しいデザインのアイデアを考案する。後期はホテルで役立つロボットを考案する。それらを企画書と試作品（プロトタイプ）にまとめ、デザインプロセス全体を理解・実践する。プレゼンテーションを行い、自らの発信力を高める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
企画書を作成し、今後のデザイン企画や作品制作活動に活用することを目標とする。
【思考力、判断力、表現力等】
デザインプロセスに沿った自分の考えを企画、プレゼンする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
自ら学び、広い視野で主体的に協働して取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン分野におけるアイデアの展開方法、基礎的、基本的な知識、技能、実践的思考法を身に着けて今後の制作活動に役立てる。	ビジネスシーンで使われるラウンドテーブルによる意見交換をして、自分の考えを企画、プレゼンする力を養う。	広い視野をもつことをめざして自ら学び、デザインの発展に主体的に協働して取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	アイデア展開	・アイデアの出し方 ・発想法について ・アイデアの展開	a:企画に関する調査を行い、デザインプロセスに沿ったアイデアを出せているか。 b:企画を理解して適切な時間配分を行い、アイデアの展開や制作を行うことができているか。また中間報告後、ブラッシュアップ出来ているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	・学習状況の観察 ・作品	・学習状況の観察 ・作品 ・プレゼンテーション	・学習状況の観察 ・作品 ・課題の提出状況 ・プレゼンテーション
2	企画書作成	企画書作成について学ぶ ・ペルソナ設定	a:企画に沿ったコンセプトを出せているか。 b:企画を理解して適切な時間配分を行い、アイデアの展開や制作を行うことができているか。また中間報告後、ブラッシュアップ出来ているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	・学習状況の観察 ・作品	・学習状況の観察 ・作品 ・プレゼンテーション	・学習状況の観察 ・作品 ・課題の提出状況 ・プレゼンテーション
3	プレゼンテーション	・モデル作成 プレゼンテーション a:それぞれの素材に関して制 作過程を理解し作業を行うこと ができるか。安全で丁寧な作業 を行うことができているか。	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができているか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	・学習状況の観察 ・作品	・学習状況の観察 ・作品 ・プレゼンテーション	・学習状況の観察 ・作品 ・課題の提出状況 ・プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度